

第36回大会プログラム

5月14日（土）

受付 12:00～

理事会 10:30～12:00

（第3講義室）

自由報告1 12:30～14:15

自由報告部会1-1 司会

（大講義室）

1. 三浦倫平（東京大学大学院）

「災害からの復旧・復興の「経済」 economy 複合体—持続可能な社会形成の素材を求めて①
「災害経済」概念の対象化と問題構制」

2. 似田貝香門（東京大学名誉教授）

「災害からの復旧・復興の「経済」 economy 複合体—持続可能な社会形成の素材を求めて②
「災害経済」における復旧復興の複合的な「経済」の重層性（関係）」

3. 二階堂裕子（ノートルダム清心女子大学）

「大災害の被災経験とエスニック・グループ間の関係—阪神・淡路大震災発生から15年目の検証」

自由報告部会1-2 司会河原晶子（志学館大学）

（小講義室）

1. 杉本久未子（大阪人間科学大学）「合併後の山間地自治体—広島県庄原市を事例として

（1）合併後の住民組織の再編とまちづくり」

2. 田中里美（広島国際学院大学）「合併後の山間地自治体—広島県庄原市を事例として

（2）西城町のまちづくり—旧町時代のまちづくりはどう変わったか」

3. 藤本穰彦（島根県中山間地域研究センター／島根県立大学）

「中山間地域における新たなコミュニティ運営システムの可能性」

自由報告2 14:30～16:50

自由報告部会2-1 司会 小内透（北海道大学）

（大講義室）

1. 天野 景太（東京情報大学）・安福 恵美子（静岡英和学院大学）

「観光まちづくりにおける地域コーディネーターの役割に関する考察
—静岡県川根本町における着地型観光の実践を事例として」

2. 松木孝文（名古屋大学） 「地場産業の継承」

3. 浅野慎一（神戸大学） 「夜間中学からみた大阪・近畿」

4. 西田芳正（大阪府立大学） 「子どもから大人への移行過程の多層性と地域社会」

自由報告部会2-2 司会 中西典子（立命館大学）

（小講義室）

1. 山崎仁朗（岐阜大学）

「コミュニティの制度化の社会的意義に関する考察—広島県旧五日市町を事例に」

2. 市川虎彦（松山大学）

「保守優位県における都市政治の変遷—愛媛県主要8都市の市長像の変化より」

3. 岡田航（東京大学大学院） 「都市近郊におけるボランティア活動と里山保全」

4. 田中重好（名古屋大学） 「水都再生へ」

総会 17:15～18:15

（大講義室）

懇親会 19:00～

ホテル松政

山口市湯田温泉3-5-8 TEL.083-922-2000

*懇親会場は湯田温泉にあるホテルです。会場へはバス等で移動していただきます。会場の詳細は最終ページをご覧ください。

5月15日(日)

受付 9:30～

自由報告3 10:00～12:30

自由報告部会3-1 司会 和田清美(首都大学東京)

(大講義室)

1. 鯨坂 学(同志社大学)
「大阪市の『都心回帰』による地域変動——行政区別と(旧)小学校区別に注目して」
2. 中村 圭(同志社大学)
「都心ターミナル・繁華街地域における地域コミュニティと住民組織の変貌
—大阪市北区の堂島地区・曽根崎地区を事例に」
3. 加藤泰子(同志社大学大学院)
「都心商業・業務・住宅混合地区の大規模マンション建設による変容
—大阪市北区の西天満地区および菅南地区の事例」
4. 田中志敬(福井大学)
「都心商店街における地域住民組織—大阪市北区の菅北地区および池田町を事例に」
5. 柴田和子(龍谷大学)
「工場・労働者街から都心周辺住宅地区への変容による地域コミュニティの変化
—大阪市北区豊崎東地区・大淀西地区を事例に」

自由報告部会3-2

(小講義室)

1. 菱山宏輔(鹿児島大学)
「バリ島におけるゲーテッド・コミュニティの展開——欧米との比較と流動性の調整の観点から」
2. 水谷衣里(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
「CDFIがコミュニティ再生に果たす役割——アメリカにおける実践から」
3. 鈴木鉄忠(日本学術振興会特別研究員)
「国境の歴史認識をめぐる動員ネットワーク
—イタリア・トリエステの「回想の記念日」における団体——地方自治体分析から」
4. シャザディグリ(株式会社インテージ)
「高齢者のメディア接触行動の地域別特徴
——中国新疆ウイグル自治区における住民調査に基づいて」

シンポジウム関係者打ち合わせ 12:15～13:00

(第3講義室)

***報告:** 報告20分、質疑応答5分、残りは総括討論。配付資料等は各自50部程度用意してください。

***プロジェクター使用:** プロジェクター使用希望の報告者は、各自、モバイル型PC、報告ファイル入りUSBメモリをご持参ください。報告前に会場で動作確認をお願いいたします。また、プロジェクターが使用不能となった場合でも、報告に支障が生じないように、レジユメなどのご準備をお願いします。なお、大会開催校ではコピーサービスは行ないません。

***昼食について:**

14日土曜日は各自ご対応ください。大学内の食堂の営業はありません。

15日日曜日は、第一学生食堂「ボーノ」(大学生協が運営する食堂)が営業しています。

11時30分から13時30分くらいまで2時間程度の営業となります。

なお、山口大学正門周辺にコンビニ、数軒の食堂があります。

シンポジウム 13 : 15~16 : 30

リスケーリング下の国家と地域社会

(大講義室)

司会 玉野和志 (首都大学東京) ・ 齊藤麻人 (法政大学・成蹊大学非常勤)

報告

1. 山崎孝史 (大阪市立大学)

「政治地理学におけるスケール論の展開——概念の特徴、限界、可能性」

2. 加茂利男 (立命館大学)

「社会・統治空間の再編成とリスケーリング」

3. Bae-Gyoon Park (Seoul National University)

“Inter-scalar Tensions and Rescaling of the East Asian Developmental State: Center-Local Tensions and the Politics of Decentralization in South Korea”

(「東アジアの開発主義国家におけるリスケーリングとスケール間の緊張関係：韓国での中央—地方間の緊張関係と分権化をめぐる政治」) ※韓国語←→日本語の逐次通訳あり

討論者 水垣源太郎 (奈良女子大学) ・ 大澤善信 (関東学院大学)